

「おち夢クリニック名古屋」

## Dr.越知 不妊治療 誌上セミナー

### ochi masanori 院長 越知正憲

藤田保健衛生大学大学院卒。愛知県内の病院で経験を積み、最新設備と最先端技術を持つ同院を開院。名古屋地区で最大規模の不妊治療専門クリニックとして、身体にやさしい治療を続ける一方、藤田保健衛生大学客員講師も務める。



### 第3回

## AMH検査で 卵巣の負担を減らす治療

卵巣内にある前卵細胞数を示すAMH数値。不妊の治療方法を判断する目安となる、数値の判断基準をうかがった。

### AMH数値を見極め 患者に合わせた治療を

体外受精を成功させる近道は、採卵の事前の準備にある。採卵するための方法、その治療周期の方針をより丁寧に決めていくため、おち夢クリニック名古屋ではAMH数値をじっくりと測定し、そのうえで治療方法を判断しているという。

AMH(抗ミュラー管ホルモン)は、卵巣内にある前卵細胞の顆粒膜細胞から分泌されるホルモン。月経3日目くらいを目処に、採血により測定する。卵巣内にある前卵細胞数が多ければAMH数値は高く、少なければ低くなる。若い女性は前卵細胞数を多く持ったためAMH数値は高いが、年齢を重ねるに従って数が減るためAM

H数値も低くなる傾向にある。しかし越知正憲院長は「AMHの値は高い方がいいのは当然ですが、限りなくゼロに近い、またはゼロだったら体外受精の成功率がゼロという訳ではない」と話す。測定した周期のAMH数値がゼロでも、AMHを分泌していない小さな卵胞があれば成長し、何周期か後にはAMHが分泌されるため、値が上がる可能性もあるというのだ。「当院では、AMH数値を定期的に測定し、そのうえで治療法を見極めます。体外受精を成功させるには、よい卵子を育てることが必要。そのためには、卵巣への負担を少なく、より確実に質のよい卵子を確保する方法を、患者さん1人ひとりに合わせて考え、いくつかにしています」



1.無料で利用できるタッチパネル式のパソコンでは、不妊に関する疑問や同院の考え方、治療方法について気軽に調べられる。2.院内でAMH値を測定し迅速にフィードバックできる体制が整っている。3.院内の至るところにアートなどを配し、くつろぎながら治療に専念できる環境に。

### おち夢クリニック名古屋

おちゆめくりにつくなごや

#### DATA

☎052-968-2203  
📍名古屋市中区丸の内3-19-12 久屋パークサイドビル8F  
🕒月～木・土/10:00～12:30 16:00～18:30、祝/10:00～12:30  
金・日/10:00～12:30は指定患者のみ  
💰金 ①人工授精¥15,750～ ②不可 ③なし  
🚇地下鉄名城線・桜通線久屋大通駅2A出口より徒歩1分 ④要予約  
🌐www.art-ochi.com

